

地球温暖化防止とライフサイクルに関する世論調査  
(内閣府 平成13年7月)

- 1 調査目的  
地球温暖化防止とサマータイム制度に対する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目  
(1)地球温暖化防止について  
(2)サマータイム制度
- 3 調査対象  
(1)母集団 全国20歳以上の者  
(2)標本数 5,000人  
(3)抽出方法 層化2段階無作為抽出法

Q11 地球温暖化防止のために、国としてどのような取り組みをしていくことが望ましいと思いますか。この中からいくつかもあげてください。

回答

- (35.7%) (ア) 省エネルギー機器や省エネ型建築物等の普及促進
- (40.4%) (イ) 公共交通機関の整備推進や貨物輸送の合理化など交通・物流の効率化の推進
- (41.7%) (ウ) 燃費効率のよい自動車やクリーンエネルギー自動車の普及啓発
- (45.6%) (エ) 太陽光発電・風力発電・太陽熱利用のような新エネルギーの普及促進
- (32.3%) (オ) 省エネルギー機器・クリーンエネルギー自動車や新エネルギー等について公的部門における率先的な導入
- (60.4%) (カ) 森林保護や緑化対策の推進
- (34.9%) (キ) 循環型社会の確立を目指し、リサイクル・リユースの普及促進
- (32.4%) (ク) 地球温暖化の防止に関する学校や地域における環境教育の推進
- (25.4%) (ケ) 省エネルギー・新エネルギー推進などの広報啓発活動の強化
- (36.3%) (コ) 地球温暖化防止に関する研究及び技術開発の推進
- (32.8%) (カ) 他の国との技術協力や情報交換の推進

「環境問題」に関する全国世論調査  
(読売新聞社 平成14年7月)

対象者

- ・ 全国の有権者
- ・ 3,000人
- ・ 250地点、層化2段階無作為抽出法

(質問) 地球環境を保護する対策として、あなたが、国に優先的に取り組んでほしいものがあれば、次の中から、いくつでもあげてください。

回答

- (30.5%) ・ 国民に省エネを一層呼びかける
- (39.8%) ・ 環境に配慮した商品を普及させる
- (43.7%) ・ 環境に悪影響を及ぼす産業への規制を強化する
- (36.9%) ・ 環境保護のための技術開発を支援する
- (26.8%) ・ 国民への環境教育を充実する
- (28.4%) ・ 自然エネルギーによる発電を促進する
- (48.5%) ・ 森林保護や緑化を促進する
- (19.8%) ・ 国際的な協力や取り組みを強化する
- (0.5%) ・ その他
- (8.6%) ・ とくにない、答えない

岡山県の環境に関する意識調査（県民調査）  
（平成13年8～9月）

- 1 調査の目的  
広く環境について、県民の意識や行動の実態を把握し、環境基本計画の見直しや今後の環境に関する各種の施策に反映させる。
- 2 調査方法
  - (1)調査地域 岡山県全域
  - (2)調査対象 20歳以上の県内在住者 4,000人
  - (3)抽出方法 クォーターサンプリング法
- 3 調査項目  
環境保全と経済や利便性との関係等

Q12 環境保全のために導入が検討されている県税についてお尋ねします。  
「水源かん養税」は、森林保全費用にあてるため森林から水などの恩恵を受ける人に課税されるものです。この県税は必要だと思いますか。（は1つ）

- 回 答
- (13.3%) ・ 必 要
  - (42.8%) ・ 使 途 に よ っ て は 必 要
  - (20.4%) ・ ど ち ら と も い え ない
  - (18.3%) ・ 必 要 で ない
  - ( 5.3%) ・ 無 回 答

Q12 この税金の使い道としてふさわしいのはどのようなことでしょうか。（はいいくつでも）

- 回 答
- (86.0%) ・ 森林の健全育成（間伐、植樹、森林の公有化など）
  - (25.3%) ・ 林業の担い手の育成
  - (10.5%) ・ 森林公園やキャンプ場などの整備
  - (22.1%) ・ 環境 NGO の活動支援
  - (25.0%) ・ 環境教育の推進
  - ( 1.5%) ・ その他
  - ( 1.2%) ・ 不 明

